

## 東海道新幹線 駅における携帯通訳機の導入について

東海道新幹線では、訪日外国人のお客さまに、安全、安心、快適に東海道新幹線をご利用いただけるよう、ホームページやテロップ等を通して様々なご案内を実施しております。

今回、外国人のお客さまに対して、対話形式でご案内ができるよう東海道新幹線全駅に携帯通訳機を導入しますのでお知らせいたします。

### 1. 概要

- ・駅の改札、きっぷうりば、ホームの係員が使用
- ・外国人のお客さまに、通訳機を通じて対話形式でご案内を実施

### 2. 導入する携帯通訳機について

「POCKETALK<sup>®</sup>（ポケットーク） W」

- ・世界74言語に対応した、小型・軽量で携帯性に優れた双方向通訳機
- ・お互いの音声を自動的に翻訳し、音声出力することで対話が可能

※「POCKETALK（ポケットーク）」はソースネクスト株式会社の製品です。

### 3. 対象駅、導入スケジュール

- ・東海道新幹線 全17駅
- ・10月17日より順次導入を開始し、11月末までに約350個を導入



POCKETALK（ポケットーク）



改札口でののご案内の様子

## ■通訳機の性能

- ・対応言語：世界74言語
- ・サイズ：小型（110mm×59.8mm×15.8mm）、軽量（約100g）

## ■使用イメージ

- ・きっぷに関するご説明、駅設備や列車運行情報のご案内等



駅係員またはお客さまが話した音声を、自動的に翻訳し音声出力することで、対話が可能